

八丈島 水産だより 1月号

2009

日の出

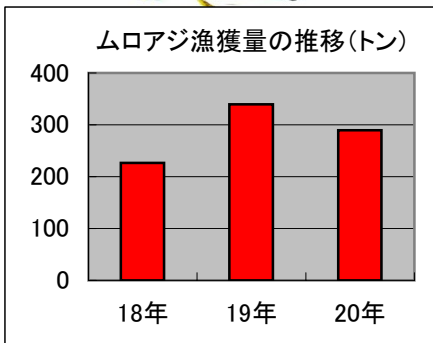


オナガの舟盛り

本年もよろしくお祈いします

お正月の二日は漁師さんの仕事始め。ご馳走を作って、親戚や仲間を呼び、漁の安全と大漁をお祈りする「船祝い」をします。お正月は、これから始まる寝る間もない程忙しい春先の漁をひかえ、つかの間の漁師さんたちの骨休みです。また、八丈町では、この時期帰省する新成人を招待して、1月5日に「成人祝賀式」が行われます。この二つのお祝いの席には、みごとな八丈産の尾長の「舟盛り」が華を添えます。

■ 昨年（さくねん）のムロアジ漁（りょう）は？



昨年（さくねん）も、順調（じゆんちよう）な水揚げ（みずあげ）となり（な）りました。漁期（りようき）始め（はじめ）から（か）大きめ（おおきめ）のムロアジ（むろあじ）が多く（おおく）、頭（あたま）から（か）丸（まる）ごと（ごと）食べ（た）られる（ら）れ（る）新（しん）クサヤ（くさや）に（に）使（つか）われる（わ）る（る）サイ（さい）ズ（ず）のムロアジ（むろあじ）が（が）あ（あ）ま（ま）り（り）み（み）ら（ら）れ（れ）ま（ま）せ（せ）ん（ん）で（で）し（し）た（た）。今（こ）年（ねん）も（も）ま（ま）た（た）、ムロアジ（むろあじ）漁（りよう）が（が）順調（じゆんちよう）と（と）な（な）る（る）こ（こ）と（と）を（を）祈（いの）り（り）ま（ま）す（す）。

■ 八丈島（はちじょうしま）のイセエビ

八丈島（はちじょうしま）では、エビ刺し網（あみ）という（いう）漁法（ぎよほう）で、10月（じゅうがつ）～2月（にがつ）ま（ま）での（の）期（き）間（かん）に、イセエビ（いせえび）・シマイセエビ（しまいせえび）・ゾウリエビ（ぞうりえび）等（ら）も（も）水（みず）揚（あ）げ（げ）さ（さ）れ（れ）ま（ま）す（す）。



シマイセエビ

漁獲量（ぎよかくりよう）は、19年（じゅうく）は（は）約（やく）170kg、20年（じゅうく）は（は）約（やく）270kgで（で）し（し）た（た）。

■ 今年（ことし）のカツオ漁（りょう）とトビウオ漁（りょう）は？

今年（ことし）の黒潮（くろしほ）の予（よ）想（そう）が（が）発（は）表（ひょう）さ（さ）れ（れ）ま（ま）し（し）た（た）。カツオ（かつお）や（や）マグロ（まぐろ）は（は）黒潮（くろしほ）の（の）流（なが）れ（れ）に（に）乗（の）っ（つ）て（て）や（や）っ（つ）て（て）き（き）ま（ま）す（す）の（の）で（で）、八丈島（はちじょうしま）付（つ）近（ぎん）の（の）黒潮（くろしほ）の（の）流（なが）れ（れ）に（に）よ（よ）っ（つ）て（て）水（みず）揚（あ）げ（げ）も（も）影（えい）響（きやう）し（し）て（て）き（き）ま（ま）す（す）。黒潮（くろしほ）は（は）、1月（いちがつ）か（か）ら（ら）6月（ろくにんがつ）ま（ま）で（で）は（は）八丈島（はちじょうしま）の（の）南（みなみ）を（を）流（なが）れ（れ）、4月（しがつ）か（か）ら（ら）5月（ごがつ）は（は）、一（い）時（じ）的（てき）に（に）八丈島（はちじょうしま）周（しゅう）辺（へん）を（を）南（みなみ）か（か）ら（ら）北（きた）へ（へ）流（なが）れ（れ）る（る）予（よ）想（そう）に（に）な（な）っ（つ）て（て）い（い）ま（ま）す（す）。

漁師（りようし）さん（さん）達（たち）は（は）、今（こ）年（ねん）の（の）春（はる）の（の）漁（りよう）の（の）カツオ（かつお）や（や）トビウオ（とびうお）の（の）大（だい）漁（りよう）を（を）始（はじめ）と（と）し（し）て（て）、今（こ）年（ねん）の（の）豊（ほう）漁（りよう）を（を）祈（いの）り（り）、心（こゝろ）も（も）新（あたら）し（し）に（に）意（い）気（き）込（こ）ん（ん）で（で）い（い）ま（ま）す（す）。